

報道関係各位

SC販売統計調査報告2015年9月 既存SC前年比 : +2.9%
大型連休ーシルバーウィークで観光地を中心に人が動く リニューアル効果によって売上好調

<全体概況>

9月のSC販売額は前年同月比+2.9%増と7月から3ヶ月連続のプラスとなった。サンプル数は486SC。月後半のシルバーウィークが売上増に貢献した。

地域別では、全9地域がプラスとなったが、とくに九州・沖縄(+7.7%)、中部(+4.9%)、北海道(+4.5%)の3地域が、政令指定都市では福岡市(+12.0%)、北九州市(+9.0%)、札幌市(+5.2%)が高い伸びを示した。

好調要因としては、シルバーウィークを中心に国内外の観光客が増加したことや、地域イベントあるいはSC独自のイベントなど集客の仕掛けを積極的に行なった点があげられる。

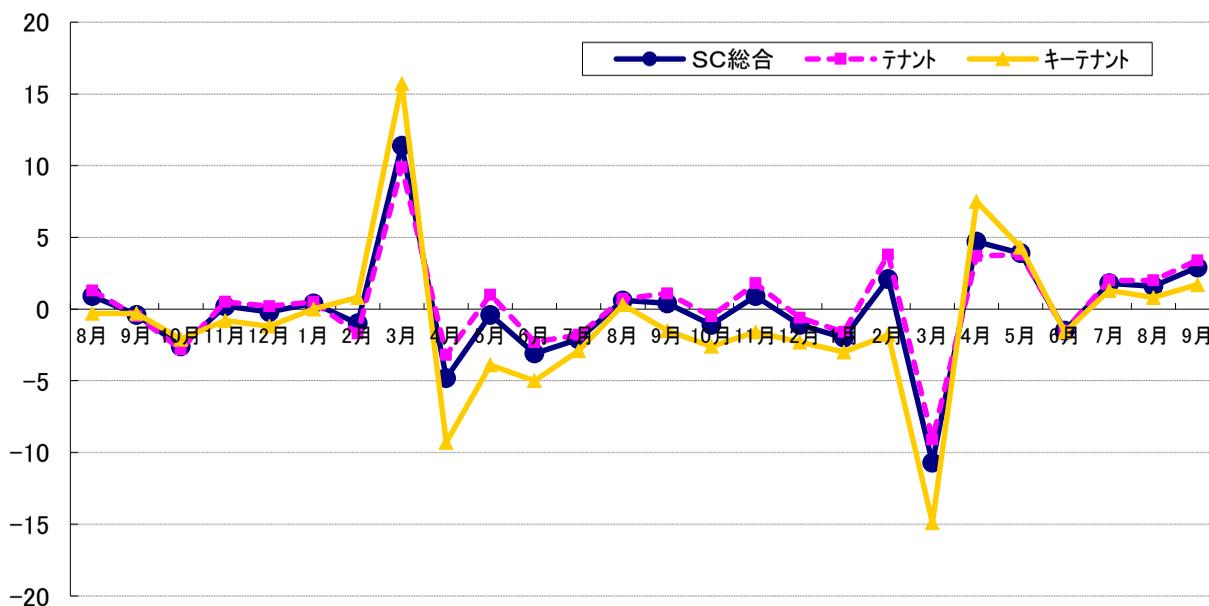
また、先月同様リニューアルによる新店の導入などが消費意欲を喚起した。

テナント、キーテナント別販売動向では、テナントが+3.4%、キーテナントが+1.7%と、テナント伸長率が高くなっている。テナントの好調業種は飲食、雑貨、サービスとの回答が多かった一方、不調業種として婦人衣料や貴金属・時計という声が多く聞かれた。キーテナントでは生鮮食品、加工食品が好調だった。

<トピックス>

今年9月のシルバーウィークは一般的に5日間と長く、各地の観光地を訪れる人の増加がみられた。とくにインバウンド客が多く訪れる九州・沖縄、9月11日からスタートし期間中約220万人を集めた「さっぽろオータムフェスト」が開催された北海道、北陸新幹線効果がまだ続く金沢、富山のSCが好調であった。

既存SC売上高伸長率推移



以上
この件に関するお問い合わせは 情報企画部:今井・原田
TEL:03-3536-8121